

【令和元年 磐城高校在京同窓会の概要報告】猪狩 記

■開催日: 9月7日(土)16:00～

■場所 : 上野精養軒

高校6回卒から71回卒まで172名の参加でした。18回卒は同窓会長鈴木正晃君とイベント演奏者の黒田一義君を含め8名が参加しました。

左より鈴木寛君、山野辺時男君、原雅英君、鈴木正晃君、秋田正光さん(21回卒)、高木祐一君、猪狩(円内は、高本正美君と黒田一義君)



■鈴木正晃君の会長挨拶

現状と今後の進むべき方向について明快かつ分かり易い会長挨拶でした。 活動内容として黒田君のライブ演奏や門馬君講演会も紹介されました。デジタル運営を進めており、今後は会員にも本校や本会情報を配信するとの事でメールアドレスの登録協力要請がありました。(詳細は挨拶文をご参照)



ご挨拶

在京髻高同窓会会長
鈴木正晃

年に一度、ここ上野の社に多数の会員の皆さまのご参集を頂き総会懇親会を開催できますことは、この上ない喜びであります。本日は、お忙しい中、いわきから阿部同窓会長、阿部校長先生、鈴木同窓会館長のご臨席を賜わり、誠にありがとうございます。

令和という新しい時代に入りましたこの1年、幹事の方々の協力により総会懇親会の開催並びに会報発行の準備を進めると共に、活性化が図られている若手幹事の意見を取り入れ新規事業を推進して参りました。また、6月には、いわきで開催の髻高同窓会総会に参加し、翌日には、数十年振りに本校を訪問しました。女性合唱団の爽やかな歌声、女子バスケットボール選手達の元気な掛け声を聞き、母校が男女共学となったことを実感しました。

その後、野球部のメンバーと歓談、皆さんの眼が輝いているのが印象的でした。いずれ甲子園出場を果たしてくれるものと大いに期待しています。また、阿部校長先生と中高一貫教育問題等について意見交換を行いました。母校の変貌ぶりに驚くと共に、子供達が、人間として大きく育つには、共学は、正に現代にマッチした姿なのではないかと感じた次第です。

今年度の具体的活動としましては、次の5つがあります。

1. この総会懇親会の講演としましては、志校子研究の第一人者で、現在、大阪大学名誉教授等でご活躍中の江尻宏泰先生（高6回）にお願いしました。イベントとしましては、テナーサクソ奏者 黒田一義氏（高18回）とサクソ奏者 青木知生氏（60回）のコラボレーションライブ公演としました。
2. 会報の内容としましては、同窓生の寄稿文ともに、本校訪問等の記事を掲載しました。
3. 昨年に続いて第二回目のセミナーを開催しました。いわきタクシーグループ代表の門馬成美氏（高18回）に、「我が社55年の歴史」と題して講演をお願いし、参加者の好評を博しました。
4. 将来のデジタル運営を目指し、在京同窓会と本校、本校同窓会並びに在京同窓会の幹事間でメールを利用してのネットワークを構築しました。本校行事等、タイムリーな情報提供が開始されております。いずれも「髻高の今」を知る貴重な情報であります。今年度は、メールアドレスを登録して頂いた会員の方にも、情報発信したいと考えております。是非、皆さん、ご登録下さい。
5. 今年の卒業生、つまりフレッシュな同窓生を、阿部校長先生のご尽力により、この総会に招待しております。今後は、若手会員増強が必要と考えています。

我が同窓会は、来年4月1日に、60周年を迎えます。そこで、今回スローガンを変更することとしました。草野心平先生作「同窓の友に」の最後の一節、「大いなる未来を生きよう」であります。髻高同窓生の更なる飛躍を少しでもサポートしたいと考えております。

最後に、在京髻高同窓会としましては、今後とも、同窓会の二つの大きな目的を推進して参りますので、会員皆様方の変わりぬご支援、ご協力をお願いいたします。

■会計報告等の後に阿部武彦校長（毎日、講話文を磐高ホームページに掲載中）の来賓挨拶

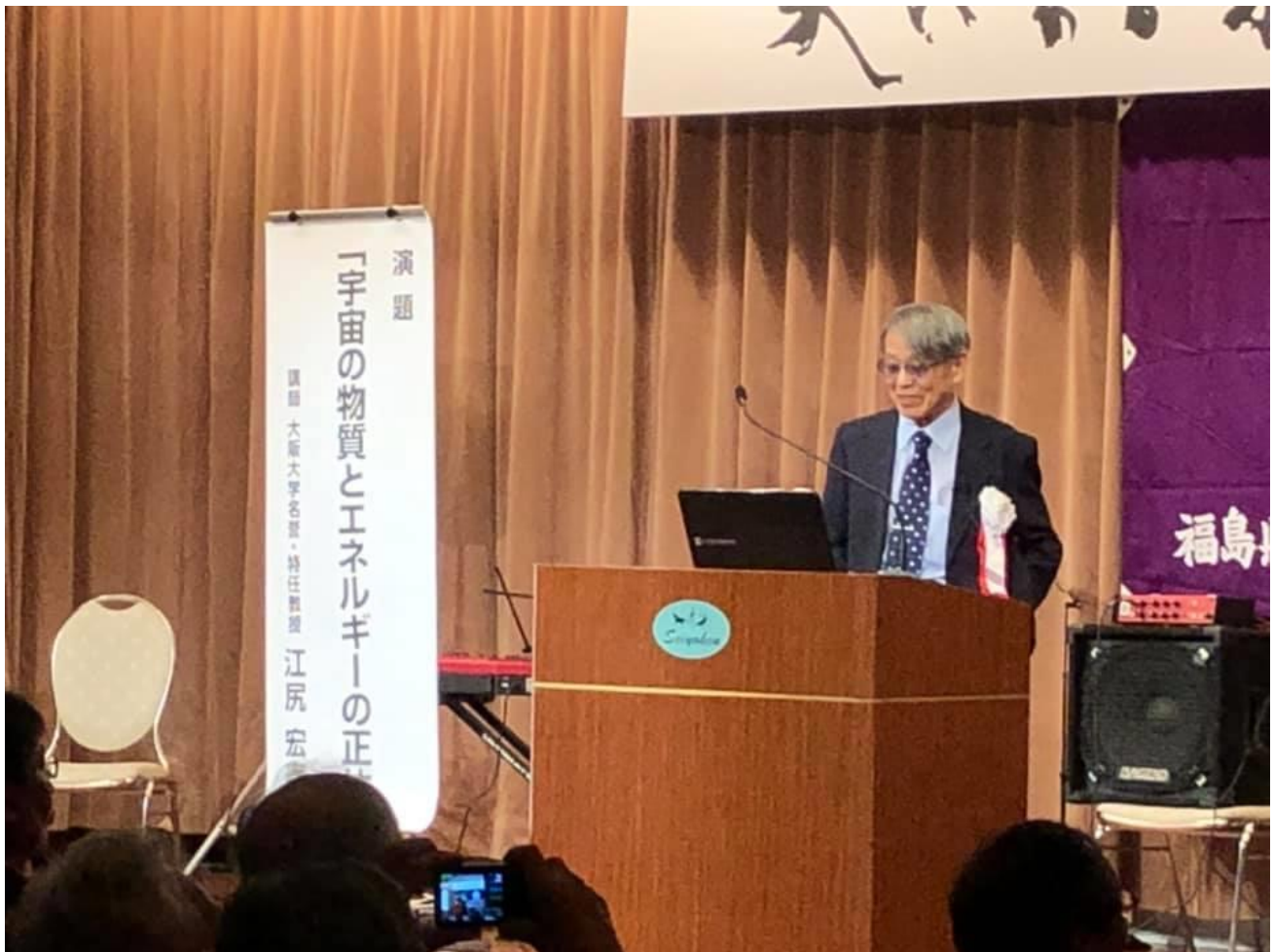
野球部員で中学の野球部員だった者がいない。（理由は8年前の大震災の影響で避難先を転々としていたから）少子化影響による高校の統廃合の話が出ている。大学受験改革の影響で安定志向（受かる大学をだけを目指す）が見られる。等のお話がありました。



■イベントその1

江尻宏泰氏（高校6回卒）講演 「宇宙の物質とエネルギーの正体」

原子核内には膨大なエネルギーが蓄えられており（バネとの表現）、バネの留め金が外れた時にそのエネルギーが外部に放出される。わかり易く水力・火力と比較しながらそのエネルギーの膨大さをご説明になった。素粒子論研究歴60年、ジョギング歴80年 近々国際学会で講演予定との事で、とても84歳とは思えない若々しい講演ぶりでした。



■イベントその2 ー黒田一義君のジャズコンサートー

青木知生さん（高校60回卒）とのコラボレーションライブがありました。
黒田一義カルテットを率いスタンダードジャズから校歌までを力強く演奏。
良き後継者が現れ幸せそうでした。



■その他

— 門馬茂美君の講演会動画 —

7月12日に本会プロジェクト「先輩に学ぶ特別座談会」第2回として門馬茂美君の「我が社55年の歴史」講演会がありました。その内容がフェイスブック(注)に動画として公開されておりますので、是非ご覧下さい。

(注) <https://www.facebook.com/IwakoTokyo/>

総じて、18回卒生の活躍が目立つ在京同窓会でありました。

以上